



関ロータークラブ

URL <http://www.seki-rc.org/> E-mail seki-rc@abelia.ocn.ne.jp
TEL (0575)22-9332 FAX(0575)22-9977

RID2630 ROTARY CLUB OF SEKI ■会長 藤井 淳 ■副会長 古田貴巳 ■幹事 三輪雄彦



2015~16 年度 国際ロータリーテーマ
「世界へのプレゼントになろう (Be a gift to the world)」
RI 会長 K.R. “ラビ” ラビンドラン

2015~16 年度 関ロータークラブテーマ
「 ONE FOR ALL , ALL FOR ONE 」 第 50 代会長 藤井 淳

第 2421 号

平成 28 年 6 月 22 日 (水)

前例会の記録 第 2420 回 6 月 14 日(火)12:30

「中濃厚生病院の増設とPET/CTについて」

中濃厚生病院 院長 鷹津久登様

◆開会点鐘

◆「我らの生業」斉唱

◆会長挨拶 藤井淳



今日は、緩和ケアについて簡単にご紹介したいと思います。

WHO (2002) の定義によると、緩和ケアとは、生命を脅かす疾患による問題に直面している患者とその家族に対して、痛みやその他の身体的問題、心理社会的問題、スピリチュアルな問題を早期に同定し、適切な評価と治療によって、苦痛の予防と緩和を行うことで、QOL (Quality of Life : 生活の質) を改善するアプローチである。具体的に緩和ケアとは、次に述べるようなことです。

・痛みやその他の苦痛な症状を和らげる
・生命を尊重し、死を自然の過程と認める
・死を早めたり、引き延ばすことを意図しない
・患者ケアにおける心理的側面とスピリチュアルな側面を統合する
・患者さんが最期まで人生をいきいきと、できるだけ活動的に生きることを支える
・ご家族に対し患者さんの闘病中や死別後の生活に適応できるように支える
・チームアプローチを用いて患者さんをご家族のニー

ズに対処する。必要であれば死別後のカウンセリングを行う

・QOL を高めて、病気の過程に良い影響を与える
・化学療法や放射線療法などの他の延命を意図する治療と併存しながら、疾病の初期から適用可能である。さらに、必要ならそれらの治療に伴う副作用の緩和を行う。簡単に一言で言うと、緩和ケアとは、がん治療の末期に身体的な痛みや精神的苦痛を少しでも和らげる (緩和する) ことを目指しています。また自宅で過ごすことが出来なくなった方で、入院治療が必要ない方には緩和ケア病棟という選択肢もあります。緩和ケア病棟は、従来の病室よりも広くゆったりした部屋で、自宅に近い環境で過ごして貰うことを目指しています。患者さん本人だけでなく、ご家族も寝泊りできる設備が整っています。本日お越しいただいた鷹津院長の中濃厚生病院にも、今年の 4 月より緩和ケアセンター (病棟) がオープンしました。私も内覧会でお邪魔させていただきましたが、全室に大型テレビ、ソファベッド、トイレとシャワーもしくは浴槽付きの個室になっており、終末期を心穏やかに過ごすことが可能となっています。皆様の周りにそのような対象の方がおみえになりましたら、(まずは見学だけでもして頂き) 利用を薦めていただけたら幸いです。

◆委員会報告

◎出席委員会 委員 塚田浩孝

会員 46 名中 出席 27 名 出席率 61.37%

◎ニコボックス委員会 委員 掛布真代

会長・副会長・幹事の皆さん・・・本日、昼例会ラスト卓話となります。そのラストにふさわしい方を藤井会長にお招きいただきました。鷹津先生、よろしくお願い致します。

早川、山村、高井、長尾、常川、後藤、塚田の皆さん・・・本日はお忙しい中、中濃厚生病院 院長鷹津久登様、ようこそR Cへお越し下さいました。「中濃厚生病院の増築とPET/CTについて」どうぞよろしくお願い致します。

◆「中濃厚生病院の増設とPET/CTについて」

中濃厚生病院 院長 鷹津久登様



中濃厚生病院の増改築がほぼ終了いたしました。新しくスタートした病院機能についてご説明し、新規導入したPET/CTについても合わせてご紹介致します。2000年に現在の若草通に新築移転してから15年が経過し、新たな設備や増床の必要が出てきたため、2014年から増改築を行って

きました。増床により全体で495床と100床以上の増床を行い、緩和ケア病棟、地域包括ケア病棟、呼吸器病センター、消化器病センター、光学医療診療部、メディカルトレーニングセンターを新たに設け、保育所、検診センター、微生物検査と病理検査部門の移転・改修、PET/CT装置の新規導入を行いました。この中でも、緩和ケアセンターはがん患者さんのうち、抗がん剤などの治療を終え、緩和を中心とした医療を受けられる方に提供される施設でありサービスであります。全人口の1/2が一度はがん罹患し、全人口の1/3ががんで死亡する時代となり、緩和ケアの重要性はますます増えています。当院では専属の医師、看護師による治療体制を確立し、また診療所からの往診を受けている患者さんも容易に再入院できるような仕組みづくりを行っています。地域包括ケアとは厚生労働省が推進する地域ぐるみでの住民の健康と医療を担う仕組みのことで、病院にも地域のニーズに対応した入院施設の整備を求めています。中濃厚生病院では44床の地域包括ケア病棟を設け、急性期を過ぎた患者さんの退院に向けた準備を行ったり、地域の先生方からの入院依頼やレスパイト入院に対応できるようにしています。関市からの強い要望がありましたPET/CT装置を導入いたしました。General electric社製の最新鋭の診断装置で、ブドウ糖代謝の亢進しているがん細胞を可視化し、同時にCTによる同部の解剖学的



な位置を同定することにより、がんの診断や治療効果の判定に有用な検査機器です。毎日、検査は受け付けており、専用の電話受付等院外からでも非常に簡単に申し込むことができます。今後、認知症の診断に用いられる可能性があり、その有用性はますます増加すると思われます。当院の目標は、地域の皆様の役に立てるように「地域密着型の医療」を提供することにあります。診療のため遠くに出かけなくても済むように、病院の機能を急性期から亜急性期まで充実し、診断から看取りまで病院が住民の皆様の生活にどのように関わって行くべきかを考えながら、これからも努力して行く所存でありますのでよろしくお願い申し上げます。



◆幹事報告

- ◎新会員候補者1名の発表
- ◎例会変更と休会通知
- ・各務原R C

次例会のご案内 7月2日(土) 17:30
「通常総会」「懇親会」 於: だいえい
担当: 会場監督・親睦活動委員会

例会: 毎週火曜日 12:30 (第3週は水曜日に18:30)
例会場: 岐阜県関市本町6-20 大垣共立銀行関支店2F
事務局: 岐阜県関市平和通7-10-25 アメリア 2F